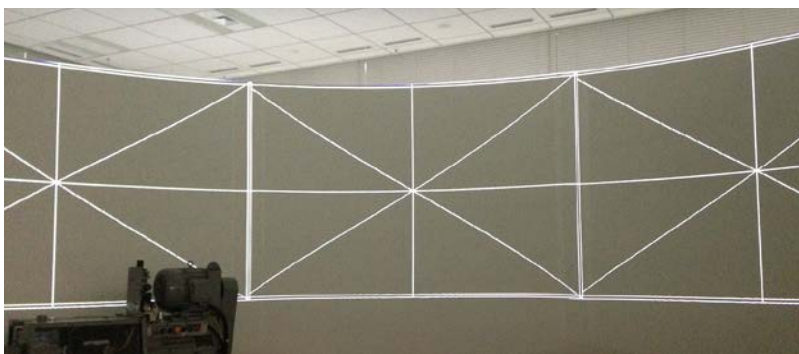


## Show Control System

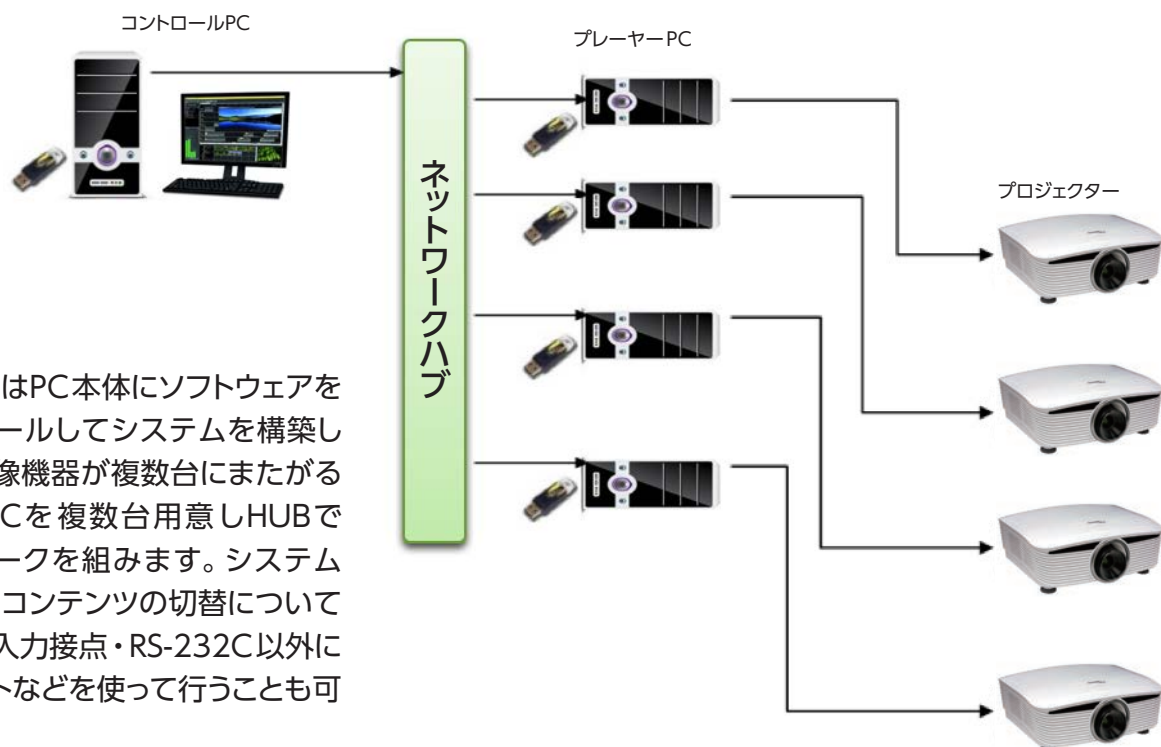
投映する造作物に合わせて、複数台のプロジェクターでのワーピング・凹凸・ブレンディングなどの幾何学補正や映像の色・明るさの補正をトータルで行えます。複数の静止画・動画の表示時間や切り替わり、BGMや効果音などの音響再生、照明・演出装置などの動作をタイムライン上で微調整をしながらシステムを構築できます。使用する映像機器はあらゆる種類のプロジェクター以外に、ディスプレイを使用した複合的なシステムの構築も可能です。

### 事例1：ショールームでの映像演出



R壁に曲面補正とブレンディング処理をして横幅10mの映像を投映。普段は待機映像が流れ、来客者がゾーンに入るとリモコンでコンテンツを再生します。その際には照明も連動します。また、新商品発表などのプレゼン用途も考え、持込PC映像を映し出すことも可能です。

### 事例1での参考システム



基本的にはPC本体にソフトウェアをインストールしてシステムを構築します。映像機器が複数台にまたがる際にはPCを複数台用意しHUBでネットワークを組みます。システムの起動やコンテンツの切替については、外部入力接点・RS-232C以外にタブレットなどを使って行うことも可能です。

価格はすべてオープンです。